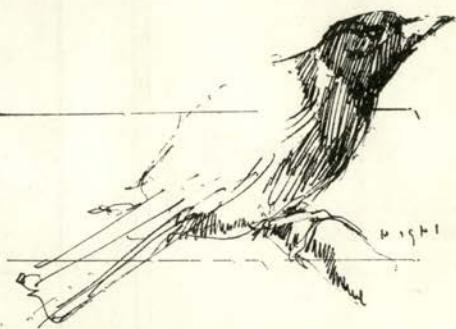


キリシタンの墓

小山牧子
え・石阪春生

海に 消えた男



佳はその部屋に、局外者として留まりつづけた。それは、夢中になつてゐる連中の席に、一人だけ醒めている若い娘が坐つてることを意味し、娘は持ちまえの強い好奇心も手伝つて、彼等、歌人仲間を意地悪く観察することになづた。

垂水の高台に建つた公営アパートの一つに居をかまえる寺田春暁家は、赤貧という暮らしそうがうかがえる寒々としたふんいきを部屋全体にただよわせてゐた。が、その夜は、春暁家は、日頃のつましさからは想像もつかぬ大盤振舞いで祝いに集まつた短歌仲間をもてなした。で、春暁家の灯火はいつになく明るく、少し大仰だけれど、他の鉄筋アパートの家庭の窓々の灯を圧して燐燃と輝やいたのである。

「おめでとう」

「春暁先生。本当に御苦労のかいがあつて……」
部屋中に明るい笑い声と祝いの言葉がみちあふれ、なにかには感きわまつてハラハラと落涙する若い女流歌人もいる。

——自然こむきあつてひつそりと歌を詠むなんて嘘っぱ

人の喜こびを自分のこととして喜こびあう身振り手振りの奥にある心で彼等はみんな一匹の醜惡な虫を飼つてゐると佳は思う。その虫はいま、何本もある手足をもしやもしやとこすりあわせ、触角をふりたてて怒つてゐる。虫は、人々の外面と内面を支えている一枚の薄い壁を突き破つてはいだし、歓談している一人ひとりの顔の上をはいまわり、のたくりまわりたいと切望してゐる。虫も殺せぬ風体の彼等の表情を、嫉妬とか羨望、そして憎悪などの最も人間的な感情で醜くゆがめてしまふのは、いつもこの虫の仕業である。が、人々は、その虫をへだてる一枚の壁を良識というひよわなつかい棒でかろうじて支えているのだ。

ちだ――

若い佳は考える。

みんな、乞食が百円硬貨を欲しがつてキリキリ舞いするのと同じように、名声を欲しがつて、人々の関心を一身に集めたがつて、だれか一人がその望みを達したとすると、その一人に対する賛辞と陰の呪詛がもつれあつて、たいそうややこしいことになる。

母の蘭子は、こういった席での自分を、人々の目に最も効果的にクローズアップさせる方法を心得ていた。

常の蘭子は、どの席でも、この短歌グループの神戸支部責任者として上座にたてまつられる脇坂紫峰のそばに、影のようによりそつていたものだつた。紫峰もまた美しく身なりの上品な蘭子にはべられるることを心よく思つてゐたことだつた。当然、歌人仲間たちは、蘭子を紫峰の思いものであるとうわさしていたのだつたが、その夜の蘭子は、脇坂紫峰の存在を完全に無視し、赤人賞受

賞者、寺田春暁の介添人といつたようすで、席を春暁のそばに移したのである。

介添人というのは忙がしいといえば忙がしいものだ。新聞社のカメラマンがやつてきて写真を撮ろうとするときは、着物の襟のぐあいをなおしてやつたり、盃に酒をみたしてやつたり、老人が忘れてしまつてゐる来訪者の名を耳もとでこつそりささやいてやつたり――。蘭子は必要以上に入念にそういう仕事をやつてのけた。さらにカメラマンが春暁にカメラをむけるときなどは、老人に身をすり寄せ、チーズと微笑んでみせることも忘れない。

一人とり残された紫峰は、独酌で盃をかさね、すぐに荒れはじめた。少年時代に短歌の世界にふみこみ、その才能を高く評価されながらも、どのような受賞のほまれにもあずからず、万年、神戸支部の世話人として終始している紫峰であつてみれば、「おめでとう」の言葉とはうらはらな、心中の虫の

のたくりかたもひとしおで、他の仲間たちよりも簡単に虫は紫峰の良識のつづかい棒をふみたおして表面にはいだし、この短歌グループの責任者の顔をゆがめてしまうのだけつた。

「苦節四十年の果てにかア……。荒涼とした気分やなア」

酔いにまぎらわし、春暁の肩をたたく紫峰の声は涙をふくんでいた。

「しかしやでえ、春暁よ。甘つたれたらあかんぞ。な春暁。こんな受



荒ませてゐる佳を言葉すくなにいたわり、心をなごませてくれることもできるだろうに。

春暁老人のそばでは、紫峰の涙声がなおもづいていた。

「おい、俺の言葉を聞いとるんか?」

老人のやせた肩を、肉の厚い紫峰の手が撫ぜたり、たたいたりする。

「それみい。お前はもう思いあがつた。思いあがつてゐるぞ。その証拠に、お前はこの俺のゆうことじみに聞いとらん



貰ぐらいで思いあがつたらあかんぞオ」

紫峰の声にうなずく春暁の木の皮のように乾いた頬を涙がすじを引いて流れた。一見、美しい情景であつたが傍観する佳は、それをも醜いと見た。

あの貧しく、名声などには無関心で、ひつそりとひとり短歌の世界に遊んでいたとみえる老人が、これしきの賞を受けて涙を流すとは……。枯れた風貌をもつ春暁にさえも、名声を欲しがる乞食のような心がひそんでいたのだろうか。

女々しい関心乞食たちめ!

彼等にくらべると、パパはなんとりりしいことか。タンカーの船長であるとはいえ、乗組員四十人の生命への責任を双肩に、海上での苛酷な自然と闘い、旅の孤独にたえている。寡黙で日焼けした父。

一瞬、佳は父にいますぐ会いたいと思つた。父ならばあの関心乞食の母とは違ひ、いまこのように投げやりな

気持で出席したくもない短歌仲間たちの間に坐り、心を

酒ぐせが悪いという評判を、紫峰はグリープのだれからも受けていた。

「しかしながら、春暁よ。お前さん、俺ごとき男の忠告を聞く必要ないと思うんなら、聞かんでもええ。けどな、これだけはゆうとくぞ。お前の勝負はこれからなんや。喰うか喰われるかの瀬戸ぎわがこれから毎日なんや。そのきびしい毎日に、お前はたえてゆけるか、恐らくあかんやろ。もう年やからな」

そこでもう一つどんと春暁の肩をたたき、紫峰はつづけた。

「そこでや、お前が喰い殺されるとき、登場するのがこの俺や。俺はなア、お前とさし違えて死んでもええと思うとるんやぞオ」

酔っ払つた紫峰の唇にのると、静かであるはずの短歌の世界が、拳闘の打ちあいとか、ヤクザのなぐりあいのような様相をおびてしまふ。

すっかり泥酔してしまつた紫峰を車につめこみ、佳は蘭子の母娘が春暁家を辞したのは、午前一時頃だつただろうか。

車が出発して間もなく、眠りこんでいるはずの紫峰がむっくりと起きあがり、オイオイと泣きだしたのには母

娘もへこたれた。泣声のあいまに、春暁老人への呪詛の言葉が、火の玉になつて飛びだす。

「なア蘭子。いや、情熱の歌人蘭子女史よ。チンチン立たへんようになつたオジンに、これから何ができるゆうんや。アホくさい。おい！」

やがて、殺人者のように獰猛な目つきで蘭子をにらみすえ、

「蘭子、貴様パンプか！春暁といちやつきやがつて！」車は、海沿いの国道を走つてた。漆黒の海に散らばる漁船の灯がたよりなげに揺れていて、海のさわぎが感じられる夜だつた。紫峰の酔いをさますためにあけ放つた窓から強い海の香りが流れこむ。が、海の気配が、紫峰の感情をさらにゆさぶつたのだろう。

「おい蘭子。お前には、この俺が一番大事にしとる鳥をやる。あす届けてやる。あいつは可愛いやつやつた」鳥というのは、紫峰が常々、古女房よりも大事にしてゐる九官鳥のことで、そのカラスを小さくしたのに似た黒い鳥は、氣味の悪いしわがれ声で人間の言葉を真似るのだった。

「あいつをお前にやるということは、どういうことかわかるか？わからんのやつたら、これから一生、鳥カゴの

前に坐つて考えとれ」

紫峰が正気でないにしても、常々、一番大切にしている九官鳥を蘭子に与えると言いだした男のもろみは何であつたのか。片身の品を愛する女に与え、自分は春暁の受賞に一念発起、大昔の歌よみよろしく吟遊の旅で もでようというのだろうか。

酒に狂つてゐる紫峰とは対照的に、蘭子は冷たい彫像のような横顔をみせていた。女の動せぬ冷やかさが、紫峰をさらに狂わせる結果になつていて、佳に想像できる。

「おい！降ろせ。俺をここから放してくれ。鳥はお前にやる。そやから、俺を降ろしてくれ。蘭子は冷たい女やお前と一緒に寝るくらいなら、海にはまつとる方が暖かいかもしねんぞ。止まれ、運転手くん、ストップ！」

「いけませんよ、先生！」

着物の袖口から白い二の腕をだして制止する蘭子をふりはらい、よろよろと腰を浮かして、

「止めんかい、運ちゃん。ションベンや。オシツコさしてんか」

ドアがあいた一瞬後、紫峰は車の外の闇に消えた。

(続く)

オール関西

6月号予告



☆住宅特集

人間性回復の住宅を考える
関西の宅地ベストテン
プレハブ住宅の可能性
泉北ニュータウンルポ

☆万国博特集

外人女性の24時間

- ・黒人ホステス
- ・フィリッピンのフォークダンサー
- ・スカンジナヴィア館女性パートン
- ・ブルガリア館の民族歌手

☆万博句会

山口誓子 赤尾兜子 陳舜臣
津高和一 花柳有洸ほか

☆商売の最前線

平安建材商会・築柴善治郎

☆好胤対話

黛 敏郎—高田好胤

☆創作「だんだん」

杜山 悠え・森本有泉



オール関西編集部

大阪市北区曾根崎上1丁目30番地
八千代会館 TEL (313) 2635



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop
カナヤ

元町3 TEL <33> 3617



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

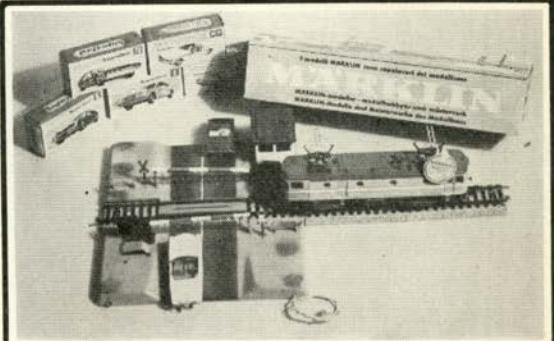
元町4丁目 TEL ④ 7290

高級紳士服専門店

神戸テーラー

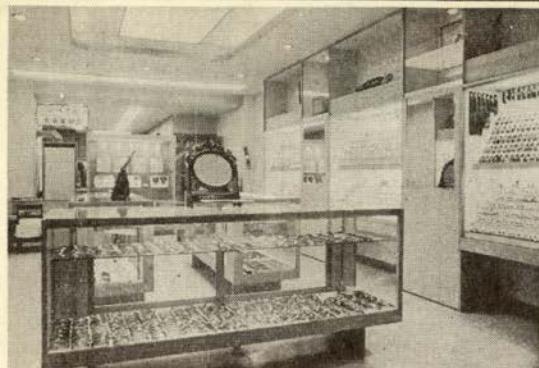


さんちかメンズタウン TEL ⑨0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ⑩2817-3173

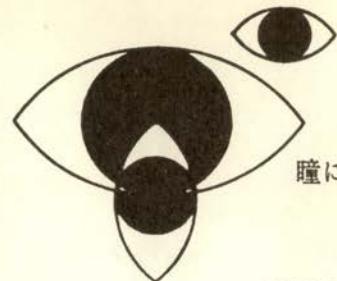


おもちゃの **カメヤ**

三宮方面でのお買物は………
さんちか店 ファミリータウン ⑨4045
三宮店 センター街大洋劇場東隣 ⑨4969
元町方面でのお買物は………
元町店 元町通3丁目山側 ⑩0090
バンブウ店 元町通1丁目不二家前 ⑩0768



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店
太田鼈甲店
 新装開店
 元町4丁目 TEL (33) 6195



瞳に美しさを保つ
 スポーツに
 美容に
 現代の科学が生んだ
 コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所
 神戸市萬代区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
 神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



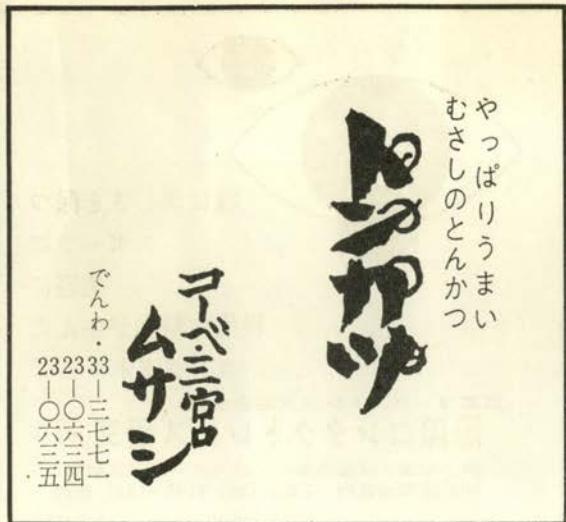
支店 本店
 TEL さんちか味 (毎週水曜日)
 (39) 5 5
 2 6 7
 3 7 7
 3 街 4 2 東
 TEL 大丸前・三宮神社
 (33) 5 5
 6 7
 7 7
 営業時間
 A.M. 11.30～P.M. 9.

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十九年
履物の山下
 古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房
 静かに品選びの出来る店
 神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



グラムール

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637

精肉直営

高 まるたか

生田区北長狭通1丁目25-1
生田新道ビル地階

TEL (078) 39・8812

新世紀・
東門筋
まるたか
生田新道
ビル

SNACK YAMANOTE

神戸市生田区中山手1丁目
ソニビル TEL 22-3637

北野町
ホテル和香葉
市電中山手1丁目

山の手

122

スナック

アルバトロス

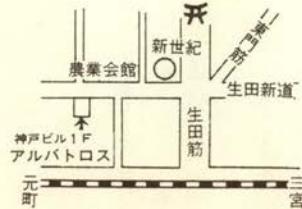
生田区下山手 2-29-1
農業会館前 TEL 33-9796



“アルバトロス”とはくあはう鳥の意味。ゴルフ爱好者なら誰でも一度はやりたいと思う。バー5のコースを二打でホールアウトすることだ。そういうゴルフ爱好者の憩いの場として、昨年暮れ誕生したスナックが、ゴルファーでもありレーサーでもある戸井千昌さんの開いたスナック“アルバトロス”である。

大学時代からゴルフとカーキチのマスターは、A級ライセンスを持ち、5年ほど前に鈴鹿サーキットで活躍した関係で、アマゴルファーの廣瀬義兼、安藤孝雄、乾英文、大西久光氏など、またレーサーとしては日産ファクトリーの寺西孝利、歳森康師氏、ダイハツの矢吹圭造氏、女性レーサーの夏川かおる、堀田順子、星住輝子さんなどもよく出入りしている。

神戸はゴルフ発祥の地。その神戸ビル1階の“アルバトロス”は、素人っぽいのが魅力のスナックでもある。



DRINKING

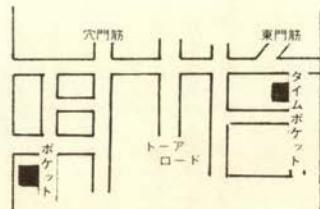
スナックレストラン

タイムポケット

生田区北長狭通1丁目
TEL 39-5907



スナックレストラン“TIME”を演出するのはあなたです…。こんなキャッチフレーズで三宮にリズム&ファッショの店“TIME POCKET”がオープンして早や2ヶ月余り。元町にある。神戸で初めてのジーランバーとして知られるR&Bの姉妹店で、さしづめ、神戸の西と東に分れた両ポケットというところ。店内は、淡い紫色で統一、シックなサロン風の作りで2階があり、天上がふき抜けになっていて広く感じさせるスペースを作り出している。アクセサリーのショーケースを置き、定期的にファッションショーを行うなど、ブティック的要素も兼ねそなえているためか女性客も多い。土・日曜の夜は、モダンジャズ演奏をやり、ダンモダンを喜ばしている。マスターの宮野輝親氏は、この店のキャッチフレーズの通り、いろんな企画をたてて、どんどんスペースを利用していくこと。ビール(300円)AM3時迄営業。



曲線ハイウェイ

武田繁太郎　え・横塚繁

多木洋介もまた、いたずらっぽい笑いをかえした。釣りこまれたように、宇津康子も、微苦笑の顔になっていた。

多木は、自分でも、駄々っ子か甘えん坊のようなところがあると思っている。早くに父を亡くし、母親と兄に甘やかされて育つたせいだろうか。

だが、そういう彼の性格が、女の母性本能を刺激するのかも知れない。多木と付きあう女は、たいていの我儘は許してくれた。

バーは、ロビーの奥のほうにあつたが、のぞいてみると、夕刻にならないとオーパンしないという。

「なにか召しあがるんでしたら、お部屋のほうへお運びします」

ボーアが気をきかせていった。

「じゃ、部屋で呑もう」

多木は、ボーアに部屋へ案内させた。三階だった。ホテルといつても、観光地のホテルだが、部屋は、いちおうホテルらしく、洋間で、ツインのベッドもならんでいた。

三階の窓から眺めも、わるくはなかつた。対岸に、さつき一人が出会つた浜名湖SAのある岬と、その右手に、S字型の赤い浜名湖橋が望めた。浜名湖畔をほぼ一周したことになる。

女中が、注文した酒の肴を運んできた。名物の鰻の蒲

焼きもきた。多木は、冷蔵庫からビールをとりだし、二人のコップにつぐと、「それじや、乾盃。なにに乾盃しよう。そうだ。今日こうしてめぐり逢つた二人の幸せのために」

宇津康子も、いわれるまま、カチリとコップをあわせてくれた。

多木は、喉を鳴らして、いつ気にビールをほした。ドライブのあとのビールの味は、また格別だった。

女も、ためらわずに呑んだ。馴れた呑みっぷりであるアルコールには自信があるようらしい。ときどき、垂れてくる長い髪をかきあげながら、おちついてコップを唇にあてていた。

二人とも、あまり言葉をかわさなかつた。静かな湖面をながめながら、ビールを三、四本もあけると、ここちよい酔いが、多木の全身を浸してきた。女も、眼の縁をほんのりと染めだしていた。

「どお？」

多木がビールをすすめると、

「ええ」

女も、呼吸をあわせたようにななづく。

気持ちの交流が、もうそこはかとなく、二人のあいだに醸しだされているように、多木には感じられた。

ふと、彼は、「旅は道連れ」などという古い言葉を思ひだしていた。

つい数時間まえまでは、見も知らなかつた女と、こうして湖畔のホテルの部屋で、むつまじそうに酒を酌みかわしている。

これも、旅のせいであろう。東京や神戸から、この浜名湖畔まで、たつた一、三時間の距離だが、ここが、旅先きであることはかわりがなかつた。

多木は、まだこの宇津康子という女の素性は、なにも知つてはいない。むろん、相手も、多木のことは、P大の学生だという知識以外には、まったくの無知であつた。だが、それでいて、そんなことにこだわる必要もないほど、二人の気持ちは、十分に通じあえるように、多木には思える。これが、旅というものの気まぐれさ、たのしさだといえたらう。

「もうビールはあきたな。水割りでも呑みたくなつた」多木は、独りごとのようになつた。冷蔵庫には、ビールとコーラの類しかはいっていなかつた。

女は、桜色に染まつた眼許に、かすかな笑みを浮べた。「バーがあくまで、待とうか」

すかさず、多木は、女の微笑に誘いかけてみた。

だが、それには答えず、

「すこし散歩しない？」

と、女のほうから誘いかけた。

こんどは、多木が微笑した。

これで、暗黙の了解がついたのだった。夜のバーで呑みだせば、今夜は、当然の成りゆきとして、このホテルに泊ることになる。女も、夜を待つために、散歩に誘うこと、男の誘いに応じていたのである。

二人は、三階の部屋から一階に降りていつた。フロントに鍵をあずけるとき、多木は、今夜は泊る旨を伝えたが、女は、すこし離れた場所に、黙つて立つていた。館山寺の旅館街は、観光客でかなりにぎわつていた。東名神が開通してからは、このあたりの観光地には、もうオフ・シーズンというものがなくなつたらしい。一年中が観光シーズンだといえた。

波もない湖水が紫地にかわる時刻まで、二人は、ゆっくりと湖畔の散歩をたのしんだ。ホテルに引揚げてきた



ときには、あたりにはすでに夜の色が漂いだしていた。星間はひつそりとしていたホテルのなかも、夜の訪れとともに、一見して観光客だとわかる泊り客たちで、少々うるさいほど、にぎやかになっていた。

だが、しおびついには、かえって、こうした騒々しい雰囲気のなかにもぐりこむほうが、好都合だった。そういうえば、あきらかにお忍びらしいカツプルが、ちらほらと散見できた。かわされている会話も、東京弁あり、名古屋弁あり、関西弁も耳にはいってくる。さすがに、ここは、東名神の中心的な観光地であった。

一階のバーのほかに、地階には、踊りものしめるク

ラブがあるという。夕食をすましてから、二人は、このクラブのほうへでかけてみた。

ほの暗い照明に沈んでいる室内は、あまり広くはないが、いちおうクラブらしい造りにしてあつた。隅のバン

ドが、ちょうどスローテンポのブルースを流していた。

多木も康子も、洋服に着換えてきていたが、かなり混みあつている客のほとんどが、丹前姿のままのアベックであった。洋服姿の二人のほうが、むしろ、場ちがいな感じを与えた。それにしても、丹前姿のアベックが抱きあい、女のスリッパの足が、丹前のまえを割りながら、男にからまつていくさまは、妙に開放的で、そのうえ、

煽情的な感じさえ与えてくる。

二人は、客席で、ブランディの水割りを一杯あけてから、

「踊ろうか」

多木は、康子の手をとつて、フロアの踊りの群れのなかにはいった。

はじめて抱く康子は、からだも踊りもしなやかだった。多木の腕にあずけたからだが、ブルースのリズムに乗って、甘い肉感を多木のからだに伝えてくる。踊りも、相當に馴れたステップだった。

この女は、なにものだろう？

そんな疑問が、また、多木の脳裏をかすめてくる。だが、すぐ、余計なせんざくは追い払っていた。

相手がどんな女だって構いはしない。いまここに、一人の男と一人の女が、抱きあって踊っている。一人の男と一人の女、それで、十分ではないか。この女と、今宵一夜を思いきりたのしめば、もう言うことはないはずだった。

バンドが、一転して、ビートのきいたリズム・アンド・ブルースをやりだした。組んでいた男女の群れが、ぱっと離れ、刺激的なメロディ



とリズムにあおられて、ゴーゴーを踊りだした。多木も、女の腕をほどくと、目顔で合図した。女も、無言でうなづきかえした。

「よし」

多木は、すぐさま、ゴーゴーのテンポに全身の動きをあわせていった。

康子は、多木と対いあって、多木の目をじっと見つめたまま、おもむろに下半身をくねらしはじめた。

さいしょは、手の動きも緩慢だった。なんとなく、投げやりなような、気だるそうな踊り方だった。

それが、徐々に、顔だけは真っすぐに多木の顔にむけたまま、両手と下半身の動きが、ねばりのある、うちに熱っぽさを秘めた動きにかわっていった。

この女独特の、いかにも男の情感をそそるような、セクシーな踊りに、いつのまにか、多木は、熱っぽい興奮にひきこまれていた。踊っては呑み、呑んでは踊り、二人が、地階のクラブから、三階の部屋に戻ったのは、もう十一時をすぎていた。部屋にはいって、ドアをしめても、二人とも、部屋の灯をつけようとはしなかった。ドアのそばで、二人は

言いあわせたように、黙つたまま対いあって立つていたさつき、クラブへでかけるとき、窓のカーテンを開けたままにしていた。ほのかな月明りが室内を照らし、窓越しに、遠くの湖面がぼんやりと銀色にひかってみえた。立つたまま、康子は、ふと、肩で秘めやかな吐息をもらした。長い栗色の髪が、月の逆光線のなかで、小刻みにゆらいた。

多木は、女の肩のあたりにまで垂れている髪に手をあて、そのからだを自分の胸にひきよせた。

康子は、わずかな抵抗を感じさせながらも、多木の胸に面をうすめてきた。抱きしめると、ふくよかな胸のたかまりが、多木の胸を甘く疼かせた。

多木は、手で女の顎をあげ、その唇に、自分の唇を重ねた。熱く濡れた唇だった。

康子は、男の唇をうけいれながら、男の腕のなかで身をもだえるようにした。瞼をとじた両の眉が、こころもち吊りあがり、長い睫毛が、かすかにふるえていた。そのからだを抱きあけて、多木は、ベッドのひとつに運んでいった。

△△△△

〈神戸の催し 6月のご案内〉

〈音楽〉

☆ジャズ・ギター・フェスティバル

6月7日(日) PM 6:30 神戸国際会館

ギター／ゲニー・パセル、ジム・ホール、アッティ・ゾーラ

ベース／ラリー・リドレー

ドラム／レニン・マックブラン

S ¥2,200 A ¥1,800 B ¥1,500 C ¥1,300 D ¥1,000

新聞会館主催

☆桃壳交響楽団特別演奏会

(ペートーベン生誕200年記念演奏会)

6月9日(火) PM 6:00 神戸国際会館

指揮／若杉弘、ピアノ／横井和子

A ¥1,000 B ¥800 C ¥600 神戸国際会館主催

☆ヴィヴァルディ「四季」

6月16日(火) PM 7:00 神戸国際会館

民音6月例会 会費A ¥1,300 B ¥900

☆西郷輝彦ショー

6月17日(水) PM 2:00、6:30 神戸国際会館

出演／西郷輝彦、ミチ&ユキ、相島ミエコ、ほか

レパートリー／拳の中の青春、青春、静かに静かに、他

民音6月例会 会費¥600

☆デューク・エイセス

6月20日(土) PM 6:30 神戸国際会館

レパートリー／女ひとり、いい湯だな、別れた人と、他

労音6月例会 会費¥700 (カンバ代¥20)

☆ソ連音楽家グループの夕

6月24日(水) PM 6:30 神戸国際会館

チュロ／ボミツル、ハープ／シャメーラ、ヴァイオリン／ボチコワ、ピアノ／ヴィルサラーゼ、メゾ・ソプラノ／ボガチヨワ、ソプラノ／コリヨワ

労音6月例会 会費¥800 (カンバ代¥20)

☆ペートーベン生誕200年記念映画

6月28日(日) PM 6:30 神戸国際会館

交響曲第6番「田園」 指揮／エルベルト・カラヤン

交響曲第7番 指揮／カール・ベー

S ¥1,800 A ¥1,500 B ¥1,200

C ¥900 学生 ¥500

新聞会館主催

☆小川知子ショー

6月29日(月) PM 2:00 6:30

神戸国際会館

レパートリー／あなたと生きる、夕べの秘密、銀色の雨、初恋の人、恋のなごり

他

民音6月例会 会費¥550



〈演劇〉

☆民芸公演「ああ野麦峠」

6月4・5・6日 每夕 6:15 神戸国際会館

神戸労演6月例会 会費¥650



柏嘉嘉金大小岡岡牛上榎石井石乾砂青荒浅朝安
曾上野野木木田奈部
井納納井淵野根崎部崎尾田並野文
健毅正元ツ一真伊真吉将正成左信豊重長正
一六治彦ム夫造忠子一朗雄一明門一彦仁雄昇平隆夫

玉田田田田瀧瀧竹角砂塙新白雀坂阪古後上小小小小
井中中村宮川川中南田路谷川部日本林藤林林泉林磯

健寛孝虎勝清 猛重義秀 昌千 喜末英秀徳芳良
一 之 之
操郎次介彦二一 郁夫民孝 雄渥介雄勝楽二一 雄一夫平

神行山若百村宮宮松福深原畠原野南中中西直外竹津
戸青吉口杉崎上地崎井富水 口沢部西卷脇木島馬高
年会哉泰 辰正襄辰高芳惣泰專忠幸圭 太健準和
議所女弘慧郎二雄男美吉良郎郎三勝弘親吉助一

発行にいろいろお世話いただいた方がた

★初めてお便りします「神戸っ子」を愛読して早や一年半。生粋の神戸っ子として生きて20才のガーランドです。今春大学を卒業したばかりです。私は、目下家事見習中の身。家の内に四、六時中ずっといる私にとって「神戸っ子」は唯一のオアシスにして、なってます。4月にオーブンしてばかりのサンプルラーメン、これからも楽しむたいと思います。記事に接することができるようお頼みします。★三寒四温という言葉どうり、まだ天気は左右され、夏物を着込んでは、しまい込んだカーディガンを取り出してくるなど恍たらしい毎日が続く。そこへ持ってきて神戸っ子の「神戸カーニバル」である。

明日はいよいよ前夜祭／時間が夜9時までとはちと淋しい気がするが、規律と禮節をわきまえる神戸っ子とが、は當然のこととかもある。昨年は神戸っ子チームがカーニバルのレードの優勝をひっさらいでしまったが、今年はまた違った特色あるチ

後編
記集



★さんブラザがオーブンした。神の未来絵圖を二つ立体化させたのが、再開発の良否がいろいろな意味でできているのではなかろうか。都市計画を血の通ったにて、商で新しい町づくりを組みたてて行くのは「人間間」にはかならない。幕だけの後は個性的な店づくりが健にできる。それにしてもジャパン市の後がなくなったかと見ると世界の軍艦大将軍が沈没して世界の軍艦が訪れて世界の街は、粹な水兵さんがカワツアとしている。フランコード前原○すれ違うのは皆外人。テキサスターバンの赤い車にこなはどこだつたりーはモーレツなハッフルぶりだった。市民の皆さんも参加して下さいの声に、フランコードがサンでうづまる。平和なればできることだ。(小泉美喜子)

★6月号も
ルデイも書
原稿と衣
子6月号も
集されま
★進歩と
とされる
ンしたさ
駅界隈は
？
★カーニ
度は万博
腰骨がど
ろか。
司蕙氏講
細な神経
ンにもま
東をいたい

★祭りの故郷は、私たちの心にある
ことを見つけることはこやす。



神戸つ子こあんない

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れていらっしゃるお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方にお申込みください。お申込み下さい。さっそくお送りします。

文進堂書店
木村書店
月刊神戸っ子に広告を掲載を希望の方たは月刊神戸っ子編集室へお申し込みください。
★神戸百店会の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。

★月刊神戸「子」に紹介されている、
神戸の銘店には、お客様までのサ
ビスとして神戸「子」がおかれています
★月刊の神戸「子」をお買求めの時に
は左の本屋さんへどうぞ。
コウベアックス　さんちかタウソン
漢口堂三宮店　京　町　筋
流　泉　書　房　セ　ン　タ　ー　街
★月刊の神戸「子」をお買求めの時に
は左の本屋さんへどうぞ。
コウベアックス　さんちかタウソン
漢口堂三宮店　京　町　筋
流　泉　書　房　セ　ン　タ　ー　街

★★★発行／昭和45年6月1日
★★★編集／発行／小泉康夫
発行所／神戸つ子編集室
神戸市葺合区八幡通5ノ96
K・Eビル4階
電話2270378074100
頒価・100円

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

阿なご寿司 青

辰

神戸市生田区元町通3-184
TEL 33-3435

讃岐名代うどん あこや亭

神戸市兵庫区旗町通7-5
TEL 23-6300

和食くれない

神戸市生田区北長狭通1-38
TEL 33-0494

かっぽう 古紋

神戸市生田区花隈町45
TEL 34-0240

鍋もの・おむすび 悟味西

神戸市生田区北長狭通1の20
三宮さんちかタウン TEL 33-3848
TEL 39-5319

お茶漬・おむすび ふるさと里

神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 33-5535

たこ焼たちばな

三宮センター街(旧柳筋) TEL 33-0572

御食事処めばえ

生田区下山手通2丁目31
TEL 33-6792

料亭大しま

兵庫区熊内町6丁目39の6
TEL 22-1360・1945

割烹喜久重

生田区元町通2丁目82
TEL 33-1915・39-3385

★西洋料理

アボロン

神戸市兵庫区八幡通5丁目6
TEL 25-3231

川あらかわ

神戸市生田区中山手2-9
TEL 22-8547, 23-3315

純フランス料理 エスカルゴ

神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 33-5034

グリル カルム

神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
アーバンビル2階 TEL 39-4805

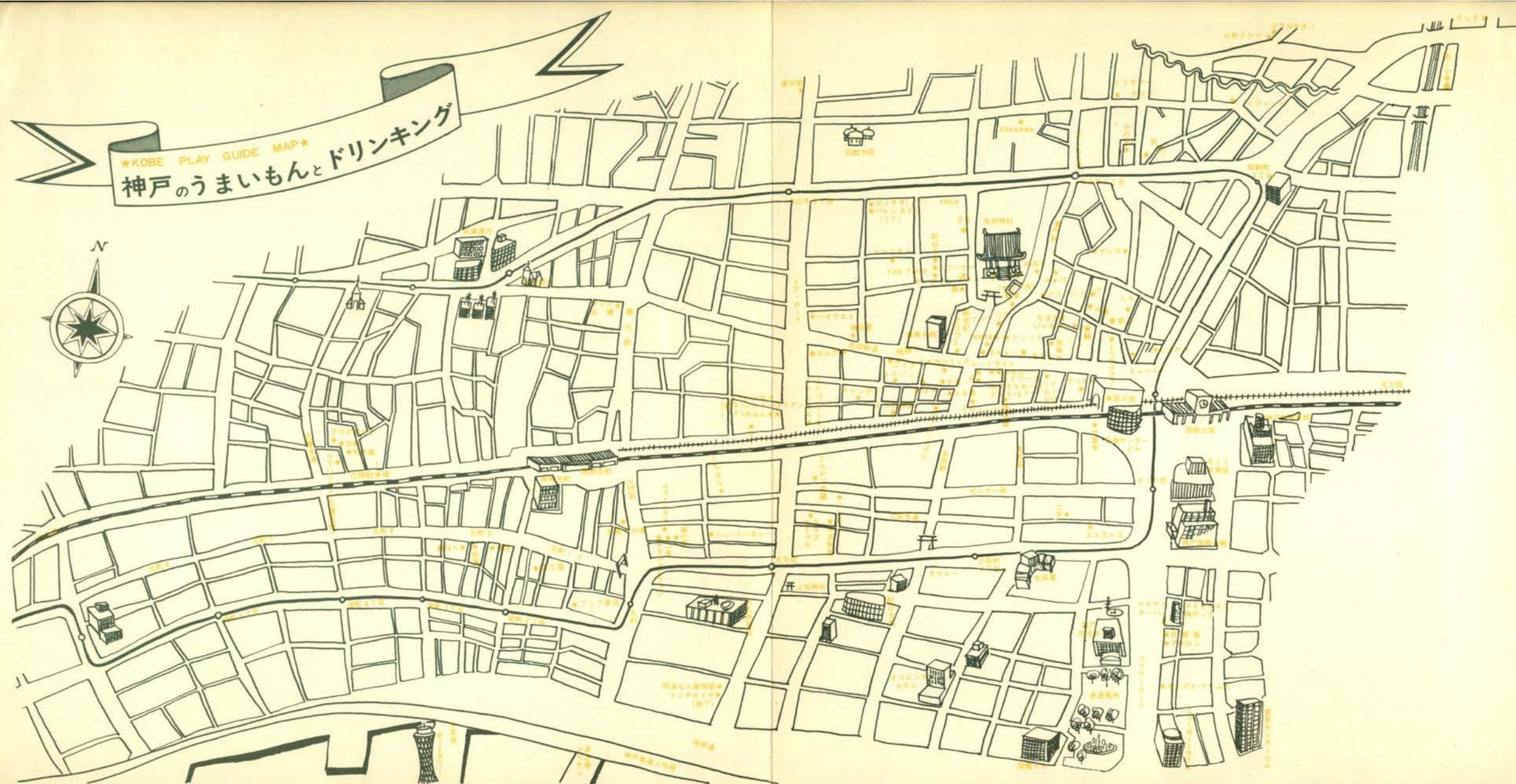
グリル サバー

神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
アーバンビル2階 TEL 39-4805

ステーキハウス

トロード

アーバンビル



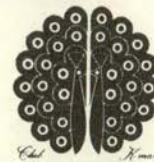


竹泉のほこる味覚
網焼ステーキ
肉のサシミ
ローストビーフ
野菜と肉のスープ

竹泉

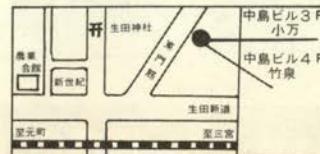
生田区東門筋中島ビル4F
TEL 31-3131

近藤正実



CLUB
小万

岩本起代子
生田区東門筋中島ビル3F
TEL 39-0638, 4386





“サイフはたこう会”

毎月、お給料前になると私達“サイフはたこう会”というのを行ない残っているお金を全部持寄って何か好きな物を食べたりのんだりするの大村文子・田中久子さん（右）

金子真珠勤務

さんちかタウン
悟味酉ちゃんこ場
味のれん街 (39) 5319
AM 11:30～PM 9:30

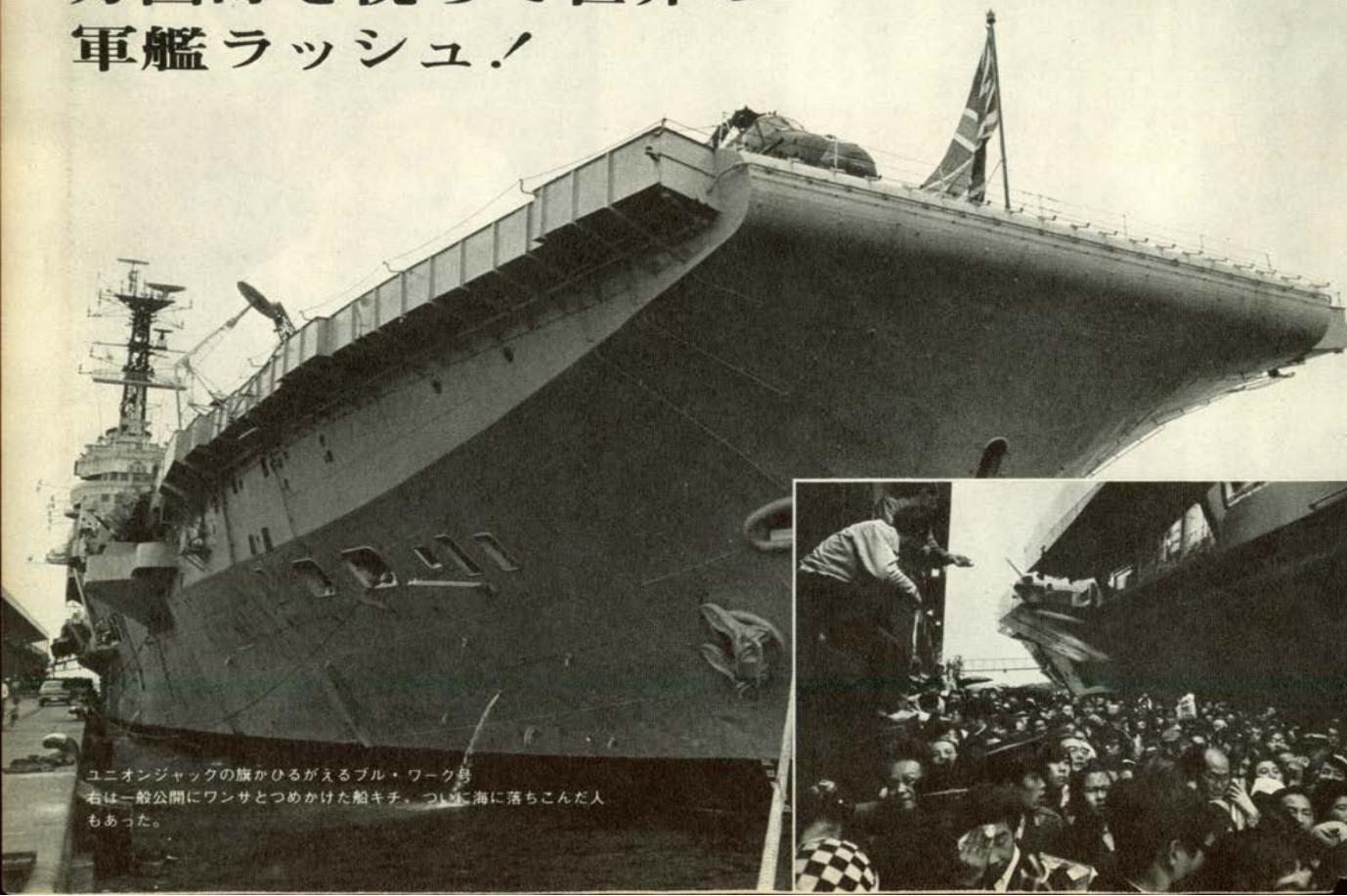
鍋もの
炉ばた
悟味酉
阪急西口 (32) 3220
(2階)
PM 5:00～AM 0:30

お茶漬・おむすび・鍋もの
ふる里
生田前筋 (33) 5535
PM 5:00～AM 0:30

海 船 港

NO. 17
英國ヘリ空母
ブル・ワーク号
を訪ねて

万国博を祝って世界の
軍艦ラッシュ！



ユニオンジャックの旗がひるがえるブル・ワーク号
右は一般公開にワンサとつめかけた船キチ。ついに海に落ちこんだ人
もあった。



上はK. C. シィーモー少佐

極東艦隊だ。

ブロムナードデッキ
からキャビンへは、細
い廊下に急な階段を下
って入りこんで行くと、
入口に士官帽がずらり
と並んだサロンへ案内
された。

艦長はB. H. ノッ
トレー大佐。応待にで
られたのは、K. C
・シィーモー少佐。(三
十四才)。秀いでた鼻に
にグレイの瞳、がっし
りとした骨格は英海軍

らしい厳格さが感じられるマジメなお人柄。日本は初め
てという。

「昨日は、エキスポへ行きましたよ。英國館は勿論、日
本のサンヨー館、三菱館などを廻って日本の電気産業の
発展ぶりを拝見したのですが、私は電気通信などの担当
なので大変参考になりました。

それに、神戸から大阪への高速道路地帯が一つの工業
地帯のようで、わたしたちは、神戸がどこで終つて、
大阪がどこで始まるのかさっぱりわからない。それぐら
い、工業が発達しているのはびっくりですね。

士官になるには十六才で DARTMOUTH (士官学校) 入
学し、二年目から艦上で実地に学び、三年生から四年
生は専門学科を選び、実地訓練を受けて卒立つて行く。
シーモー少佐の場合は二十二才で徴兵をうけていらい
ずつと海軍だが、第二次世界大戦後、実戦はやつていな
いわけだ。しかし誇り高き英國海軍気質は脈々とうけつ
がれているようだ。

尊敬する人はときくと、しばし考えて、

四月二十五日。この日も雨だった。五突S岸壁に身を
寄せる英國海軍のヘリ空母「ブルー・ワーカー号」(二七、三
〇〇排水トン、千八百六十人乗り組み)を訪れた。
このヘリ空母は、輸送艦「タイドスプリング号」(二
五、九三二排水トン、八十五人乗り組み)と、補給艦「
リザージェント号」(一四、〇〇〇排水トン、八十人乗組
み)を従え、基地シンガポールから香港を経て入港した

す。女王陛下の旦那

さまとして大変なご

くろうをなさってい

ますからね。それに

英國は伝統的な海洋

国ですから、特別皆

が海軍に興味をもつ

ていますよ。だから

私たち海軍は英國を

海外に代表するもの

として大きな役割割り

を果していると思い

ます」と確信的な声。

一九五〇年。第二次

世界大戦中に建造

されたブルワード号

は一九六三年に改造

されて、今は、十二

人乗りのヘリコプタ

ー十八機のほかに対

空ミサイルなどを重

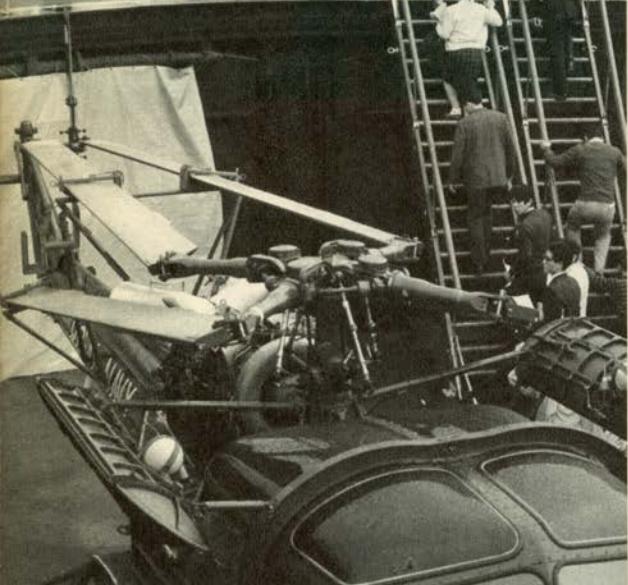
装備し、グリーンベ

レーをかぶつた、コマンド部隊（海兵隊）九百人を乗せている。いざとなればこのヘリコプターで海兵隊は、敵前上陸することになる。

少佐の趣味を聞くと、「サマサット県のウイツルに十八世紀初めの古い家があつたのでそこを改造して住んでいるが古い家をいじつたりするのが好きなんですよ」と渋い趣味。

通訳にあつた二コラス、ビーターさんは、東京にある英國大使館の方で、落ちついた声で美しい日本語がよどみなく流れでるのには驚いた。ジョージアさんと二人は二十三日入港以来、二十七日朝の出港まで艦で皆とともに生活している。養護施設の子供たち百人が午前中に招待されたそうで、明日はサッカーの親善試合や、万博の観光などスケジュールがいっぱいだ。これから神戸を楽しみたいというシーモー少佐は「何を食べたいですか」ときくので、「コーベ・ビーフ・ナンバー・ワン！」と答えた。スコッチをバーで楽しんだ後、艦を降りることになつたが、プロムナードデッキのタラップで五、六人の水兵さんが握手の礼。思わずみとれて「サヨナラ」の言葉を忘れてしまった。蛇の目をさし、雨の神戸港を歩く水兵さん達。ブルワード号のユニオンジャックの旗が夜目に光り磯風になびいていた。

上は士官サロン 左は一般公開 左下は女の子にモテル水兵さん。

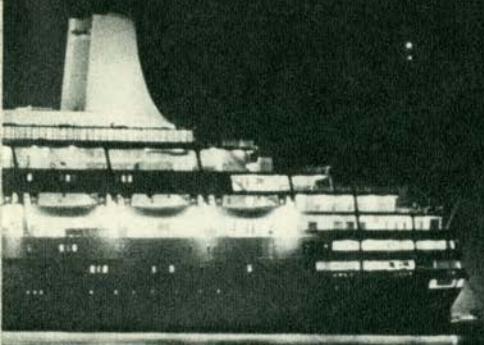


タラ蟹

夜の港

カメラ

緒方しげを





Homo sapiens

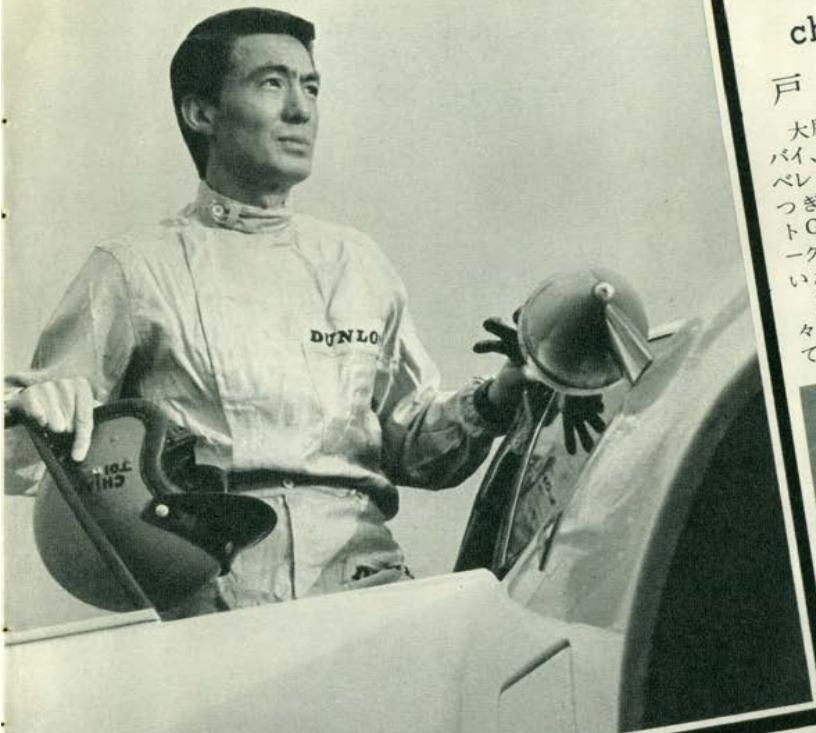
きみも同胞

chapter III 空間を固定するダッシュ

戸井千昌〈アルバトロス経営〉

大胆なカーキチ。11年前に免許を取り、オートバイ、ブルーバード、ベレット1500、ホンダS-600、ベレットGT、クラウンS、トヨタ2000GTと乗りつぎ、車にとりつかれる。5年ほど前は、ベレットGTでイスズスポーツカークラブ、関西スポーツカークラブから鈴鹿で活躍、かなり名前も知られていた。

現在は仕事一すじと本人は言っているが、時々鈴鹿、富士スピードウェイで役員の方で参加している様子。



San Sakae
clothier 神戸元町1
TEL<33>-5121

men's apparel

せんせ加工

神戸元町2
TEL<33>-7885

マンシング
ウェー



神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

*宝飾品 Jewel·Pearls

①宝 飾 御木本真珠店	國際牌 1 横 Mikimoto Pearls
②宝 飾 田崎真珠店	新開金銀珠品店 Kobe Shinbun
③宝 飾 北村真珠店	元町通二丁目 Kitamura Pearls
④宝 飾 夕ジマ	元町通二丁目 Tajima Jewel
⑤時計と宝石	美田時計店
⑥宝 飾 神戸宝石	元町通三丁目 Kobe Jewel
⑦真珠・毛皮	ムラタ Pearly Fur & Ladies'

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑦紳士服 柴田洋洋服店	元町通四丁目 Tailor Sibata
⑧ネクタイ 元町バザー	元町通一丁目 Motomachi Bazaar
⑨紳士服 三恵洋服店	元町通四丁目 Tailor Mituei
⑩男子洋品 フナキヤ	元町通三丁目 Funakiya
⑪紳士服 十字屋洋服店	元町通五丁目 Tailor Jujuya
⑫洋品雑貨 サノヘ	元町通二丁目 Sanohe
⑬ワイシャツ 神戸シャツ	元町通二丁目 Kobe Shirt
⑭紳士服 洋服の粹渡辺	元町通一丁目 Watanabe
⑮衣生活品 ニッケショールーム	元町通三丁目 Nikkie Showroom
⑯紳士服 神戸テーラー	阪急西口・西 Kobe Tailor
⑰若人の服飾 マック	三宮本店・アプロード Center-Gai: Kyoto Shop
⑱紳士服飾 ウネ	元町通二丁目 Men's Shop Une
⑲紳士シャツ 大和屋シャツ	元町通二丁目 Yamatoya Shirt

*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

⑳帽子 マキシム	上品モード Maxim
㉑服飾雑貨 エスター・ニュートン	上品モード Esther Newton
㉒洋品 スギヤ	上品モード Sugiya
㉓ハンドバッグ シラサ	上品モード Shirasa
ベビーアイテム 子供服	アーモーリア Familiar

㉔洋傘 オカダ	才カスニヤ
㉕洋装 マスuya	セリザワ
㉖婦人服飾 ベニヤ	ベニ一毛皮店
㉗婦人・紳士服	セリザワ
㉘毛皮	ベニ一毛皮店

*装身具・服飾品 Accessory·Dress

㉙ベッ甲 太田ベツ	甲太田一丁目
㉚ハンドバッグ イクシマ	イクシマ一丁目
㉛アクセサリー 芸夢	芸夢一丁目
㉜婦人・紳士靴 クロス靴	クロス靴一丁目
㉝婦人・紳士靴 ヨシオカ	ヨシオカ一丁目

*和装 Kimono. Geta

㉞呉服 ちんがら屋	ちんがら屋一丁目
㉟呉服 みよしや	みよしや一丁目
㉟呉服 中川衣裳店	中川衣裳店一丁目
㉟呉服 つるや衣裳店	つるや衣裳店一丁目

*美容 Beauty Shop

㉞美容 ブルーアキラ	ブルーアキラ
㉟美容 美容室エリザベス	エリザベス
㉟美容 美容室エリザベス	Elizabeth Beauty Shop

*美術・工芸品 Art

㉞美術 元町画廊・若木屋	元町画廊・若木屋
㉟美術 末積製額	末積製額
㉟美術 磯川工芸店	磯川工芸店
㉟美術 淡洲堂	淡洲堂
㉟新古美術 播	新播

*家具 家庭・文化用品 Furniture·Family

㉞家具 永田良介商店	永田良介商店
㉟家具 力メヤ	力メヤ

㉙洋傘 オカダ	タヤ
㉚洋装 マスuya	セリザワ
㉖婦人服飾 ベニヤ	ベニヤ
㉗婦人・紳士服	セリザワ
㉘毛皮	ベニ一毛皮店

㉙メガネ 神戸眼鏡院	神戸眼鏡院
㉚カメラ コヤマカラマ	コヤマカラマ
㉛儀式用品 富田屋	富田屋
㉜婦人・紳士靴 大上鞄	大上鞄
㉝ブルフ用品 大上鞄	大上鞄

㉙メガネ 神戸眼鏡院	神戸眼鏡院
㉚カメラ コヤマカラマ	コヤマカラマ
㉛儀式用品 富田屋	富田屋
㉜婦人・紳士靴 大上鞄	大上鞄
㉝ブルフ用品 大上鞄	大上鞄

*ボーリング Bowling

㉙ボーリング 神戸スターレーン	神戸スターレーン
㉚ボーリング 神戸スターレーン	神戸スターレーン

*菓子・喫茶 Cake·Tea-room

㉙和洋菓子 風月堂	風月堂
㉚和洋菓子 龍井堂	龍井堂
㉛和洋菓子 亀井堂本家	亀井堂本家
㉜和洋菓子 雅治郎飴本舗	雅治郎飴本舗
㉝和洋菓子 ドン	ドン

*クラブ・料亭 Club·Restaurant

㉙和洋菓子 風月堂	風月堂
㉚和洋菓子 ブランドウ	ブランドウ
㉛和洋菓子 茉莉	茉莉
㉝和洋菓子 大井肉	大井肉
㉞和洋菓子 乃花	乃花

㉙和洋菓子 寿	寿
㉚和洋菓子 レストラン	レストラ
㉛和洋菓子 竹葉	竹葉
㉝和洋菓子 天祐	天祐
㉞和洋菓子 一富	一富

㉙和洋菓子 一富	一富
㉚和洋菓子 一富	一富
㉛和洋菓子 一富	一富
㉝和洋菓子 一富	一富
㉞和洋菓子 一富	一富

㉙和洋菓子 乃花	乃花
㉚和洋菓子 ハナワグリル	ハナワグリル
㉛和洋菓子 ニュートーキョー	ニュートーキョー
㉝和洋菓子 新雨茶	新雨茶
㉞和洋菓子 海川屋	海川屋

㉙和洋菓子 乃花	乃花
㉚和洋菓子 ハナワグリル	ハナワグリル
㉛和洋菓子 ニュートーキョー	ニュートーキョー
㉝和洋菓子 新雨茶	新雨茶
㉞和洋菓子 海川屋	海川屋

㉙和洋菓子 乃花	乃花
㉚和洋菓子 ハナワグリル	ハナワグリル
㉛和洋菓子 ニュートーキョー	ニュートーキョー
㉝和洋菓子 新雨茶	新雨茶
㉞和洋菓子 海川屋	海川屋

*商社 Trading House

㉙ビール 朝日麦酒 K.K.	朝日麦酒 K.K.
㉚電化製品 ナショナル電化センター	ナショナル電化センター
㉛銀行 神戸銀行	神戸銀行
㉝珈琲・紅茶直輸入 UCC上島珈琲本社	UCC上島珈琲本社
㉞和洋菓子 寿	寿

㉙和洋菓子 寿	寿
㉚電化製品 ナショナル電化センター	ナショナル電化センター
㉛銀行 神戸銀行	神戸銀行
㉝珈琲・紅茶直輸入 UCC上島珈琲本社	UCC上島珈琲本社
㉞和洋菓子 寿	寿

㉙和洋菓子 寿	寿
㉚電化製品 ナショナル電化センター	ナショナル電化センター
㉛銀行 神戸銀行	神戸銀行
㉝珈琲・紅茶直輸入 UCC上島珈琲本社	UCC上島珈琲本社
㉞和洋菓子 寿	寿

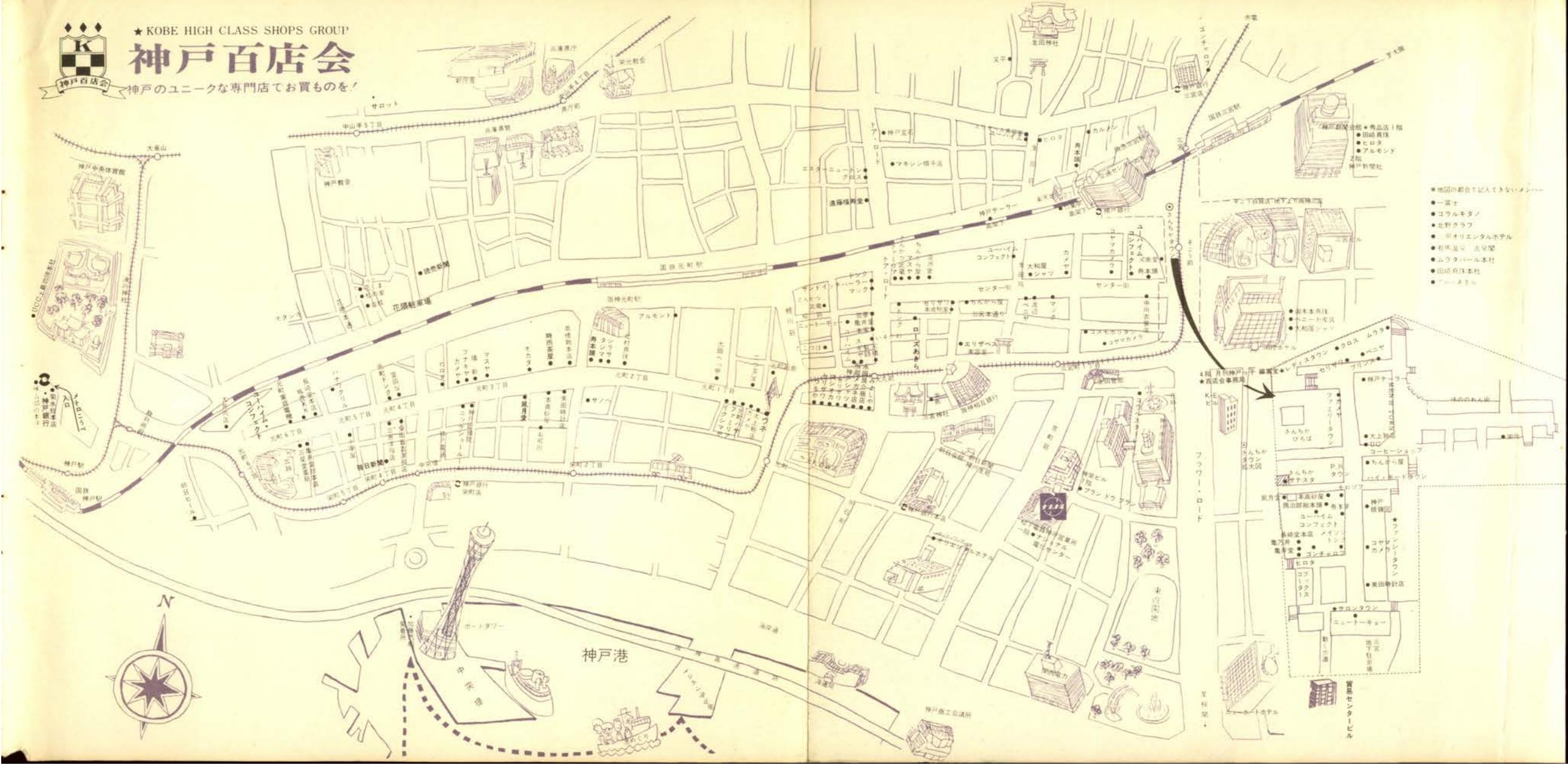
㉙和洋菓子 寿	寿
㉚電化製品 ナショナル電化センター	ナショナル電化センター
㉛銀行 神戸銀行	神戸銀行
㉝珈琲・紅茶直輸入 UCC上島珈琲本社	UCC上島珈琲本社
㉞和洋菓子 寿	寿



★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

ご神戸のユニークな専門店でお買ものを！



＊地図の都會を記入できないメンバー

- 一富士
- コラルキタノ
- 北野クラフ
- 田原エリエンタルホテル
- 右近屋 本店
- ムラタパール本社
- 田崎真珠本社
- アーネストモリ



盗賊の館

Robber's house

中山手

新世紀
○

开

11

紅馬車○

生田新道

東門筋
● 小坂ビル2F
盗賊の館

神戸市生田区中山手通1-72 東門筋小坂ビル2F TEL 32-1548

昭和四十年一月二十日 発行所 / 神戸市役所
 第二種便物認可
 昭和四十五年六月一日発行 毎月一回
 K・Eビル四階
 ナニワ印刷株
 TEL 227-0370
 編集発行 / 小泉康夫 (送科10円)
 頒価一円

JEAN PATOU BOUTIQUE KOBE JAPAN



《ジャンパトウーブティック》
 それは、みなと神戸の高台北野町
北野クラブ にある
 エレガントなおしゃれの店。
 パリ・サンフランダン7番街の
 由緒ある名門オートクチュール
 ジャン・パトウが直航便で
 皆さまにおとどけする
 四季おりおりのプレタポルテと
 気品にみちた香水や
 アクセサリーがそろっています
 ご結婚のご準備に、およばれに
 また海外旅行の装いに
 ぜひお立ち寄りください

ジャン・パトウーブティック
 コウベ

神戸市生田区北野町1丁目64
 TEL 078 22 54 90

北野クラブ

